家族大会 2021 報告

ZOOM チャットから寄せられた感想より

◆ 親の立場でも子供の立場でも、病を抱えている当事者自身だけでは無く、それぞれ立場の違う当事者の方の生の声をゆっくりと聞かせていただく事は、精神科医療従事者には広く必要なことだと思いました。同じような会を何度でも、定期的にでも、年数回でも開催していただける事はいろんな意味で有意義だと思います。よろしくお願いします。

◆ 絶対的な存在であるはずの親が、（こどもから見ても）おかしな行動をとったり、暴力を振るったり、自傷する姿は、こどもにとってどれほど怖くて存在を否定された気持ちになるかを知りました。発表を聞きながら、当時の経験や今の思いをここまで話せるようになるのに長い道のりがあったのだろうな、と想像すると涙が出てきました。また、あいかさんの「みんなが、あんじゅを好きだということを忘れないで」というコメントを聞いて、はぴんちゅがお互いに助ける・助けられる関係になっており素敵なグループだなと感じました。私も精神疾患を支援する職種として、地域の一員として、ヤングケアラーの方々へ思いを寄せつつ、活動が広がるよう協力していきたいです。これからも応援しています。

『家族大会に参加して」 読谷村家族会 会長 當山幸子

●統計がないから問題
●情報がない、隠すのが問題、話す場がない
●探求していくと問題がいっぱい出てくる
●苦しんでいる人がいっぱいいる。平和で生きていくためにどうしたらいいか？
●日本はドイツ・イギリスに比べ、先進国とはいえない
●イギリス→ファミリーワーク 2017 年 メリデン版訪問家族支援の普及
●アクションを起こしていく
●JICA 国際フォーラムへの参加
●子どもの気持ち、すべての立場、社会と大人がどうしていくか？

現在、家族会の会長をしていますが、このことに息子は反対しています。
お父さんが会長をしていて、「家族会の灯りを消さないで」との遺言、
だから息子に理解してもらいたい、と会長を続けています。
母親亡き後は、一人息子なのでお嫁さん募集中ですが、自立して暮らしていけるように、方向性を間違わないように、二人で向き合って静かに暮らしています。
偏見と差別の中で、打たれ強くなりました。

家族会は仲良く楽しく元気に続け、自分がやれることを計画し、頑張っていきたい！